



## パリ2024オリンピック・パラリンピック

## 陸上・坂井隆一郎さんが100mに出場、100m×4リレーでは5位入賞



(写真提供:共同通信社)

7月26日～8月11日に開催されたパリ2024オリンピック競技大会において、陸上男子100m予選に出場した坂井隆一郎さん(2020年人間健康学部卒・大阪ガス)が10秒17の7組5着で、無念の予選敗退となった。

また、坂井さんは陸上男子4×100mリレーの決勝にも出場。1走を担い、持ち前の鋭いスタートから好位置で2走につないだ。日本はシーズンベストタイムの37秒78をマークし、メダル獲得には及ばなかったが5位入賞を果たした。

## セーリング・西田カピーリア桜良さんが混合ナクラ17級に出場

パリオリンピック・セーリング混合ナクラ17級において、西田カピーリア桜良さん(総合情報学部4年次生)・飯東潮吹さん(西田さん提供)のペアが出場した。



西田カピーリア桜良さんと飯東潮吹さん(西田さん提供)

会場となる港湾都市マルセイユで競技に臨み、総合17位でレースを終えた。上位10組によるメダルレース進出はなかったが、連日地中海の波と風を受けながら熱戦に挑み、確かな足跡を残した。

ヨットは5歳から始め、「スピードが魅力」とこの種目に取り組んできた。パリオリンピック最終選考大会で好成績を収め、初のオリンピック出場を決めた。

## 和田伸也さんがパラリンピックに出場、5000m(T11)で4位入賞

8月28日～9月8日に開催されたパリ2024パラリンピック競技大会に、東京大会でも複数メダルを獲得した視覚障がい者陸上競技の第一人者、和田伸也選手(2002年社会学研究科卒・長瀬産業)が出場した。男子5000m(T11)で4位、男子マラソン(T12)では9位となった。マラソンでは前回東京大会と同じ順位だったが、視覚障害の重いクラスのT11での記録としては、自らの持つパラリンピック記録を更新する2時間29分59の好タイムで走り切った。



力走する和田選手(左)とガイドランナーの長谷部匠選手(写真提供:共同通信社)

## 大阪天満宮・天神祭の船渡御に、今夏も「関大丸」が出航



7月25日、日本三大祭りと呼ばれる天神祭のクライマックスを飾る船渡御に、関西大学は奉拝船「関大丸」を出航させた。「関大丸」の出航は今年で16回目。校友や7か国からの留学生などさまざまな年代の約160人が乗船し、他船や沿道の人々と「大阪締め」を交わした。応援団の演舞によって船上はさらに活気に満ち溢れ、奉納花火に酔いしれながら、乗客全員がオール関大で関西大学のますますの発展を祈念した。



## 社会安全学部・平井登威さんが「Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2024」に選出



(写真提供:Forbes JAPAN)

平井登威さん(社会安全学部4年次生)が経済誌「Forbes JAPAN」主催の「Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2024(「世界を変える30歳未満」30人)」に選出された。次世代をリードする各国の若い才能30人に光をあて、応援するプロジェクト。平井さんは精神疾患の親を持つ子ども・若者を支援する団体「CoCoTELL」を立ち上げ、2023年にNPO法人化。オンラインでの相談活動などを展開している。

## 「関西大学デジタルアーカイブ」が「デジタルアーカイブジャパン・アワード2024」を受賞

8月26日、国立国会図書館・内閣府が主催の「デジタルアーカイブフェス2024」が開催され、関西大学アジア・オープン・リサーチセンター(KU-ORCAS)が運営する「関西大学デジタルアーカイブ」が「デジタルアーカイブジャパン・アワード2024」を受賞した。



「関西大学デジタルアーカイブ」は「研究リソースのオープン化」をコンセプトに、大学図書館並びに研究者が所蔵する幅広い資料を収録。信頼されるデジタルアーカイブに向けた取り組みを多数行っている点が高く評価された。

## 体育会サッカー部の川島功奨さんが鹿児島ユナイテッドFCに入団内定

2025年シーズンより、体育会サッカー部の川島功奨さん(社会学部4年次生)がJリーグ・鹿児島ユナイテッドFCに入団することが決定した。川島さんのポジションは、ミッドフィルダー(MF)・ディフェンダー(DF)。得点、アシスト、守備でも力を発揮する。秀でた戦術眼と豊富な運動量、正確なキックを武器に、今後の活躍が期待される。



(写真提供:関大スポーツ編集部)

